

出品制限を確認する

amazon seller central

カタログ 在庫 価格 注文 広告 ストアフロント レポート パフォーマンス

商品登録

出品申請のステータス



Amazon.co.jpで
商品詳細ページ、バリエーションおよび...

スキップ

キャンペーンおよび...

Amazon@adidas(アディダス)

adidas

商品を1点ずつ登録する
商品の型番やJANコードで検索してください

🔍 ショップジャパン 検索

Amazon のカタログになかった場合: 商品を新規に登録する

在庫フ
登録す

または 在庫ファイ

バリエーシ
る NEW
在庫ファイ

Amazonでは正規品を扱っていない証明を取らないと出せない品物も存在する



そもそもAmazonの出品制限・出品規制とは何なのか？

まずは、そもそもAmazonの出品制限・出品規制とは何なのか？という部分から解説していきます。

Amazonでは一部のブランド・メーカーにおいてその商品を卸売する卸業者か、または直接ブランド・メーカーから仕入れている証拠となる請求書を提出しなければ、該当ブランド・メーカーの製品を販売する許可が降りない仕組みになっています。

なぜこのような形で出品を制限、規制するのか？

その理由は大小含めて様々にありますが、最も大きな理由として挙げられるのは、「Amazonマーケットプレイスで販売している小売業者の商品の販売によって、Amazonの顧客の信頼を失わないため」というところにあると思います。

要するに、「Amazonで商売するのはいいけど、変な流通経路で仕入れたまじ商品勝手に売らないでね？」ということです。

現在、Amazonで出品制限・出品規制されているブランド・メーカー一覧

Apple

アップル

Beats

ビーツ

BenQ Japan

ベンキュージャパン

Brother

ブラザー

Canon

キャノン

Casio

カシオ

DJI

ディージェーアイ

ELECOM

エレコム

EPSON

エプソン

Philips

フィリップス

FUJIFILM

フジフィルム

GoPro

ゴープロ

Microsoft

マイクロソフト

NIKON

ニコン

OLYMPUS

オリンパス

Panasonic

パナソニック

PENTAX

ペンタックス

RICOH

リコー

THERMOS

サーモス

Amazonで自分が掛かっている出品制限・出品規制を確認する方法

自分がどのブランド・メーカーで出品規制が掛かっているかどうかを事前に確認する方法があります。

下記リンクの「ASINを入力する」の部分に、自分が仕入れて売りたい商品のASINを入力し、ブラウザの検索窓にコピーして検索してみてください。

Amazonの出品制限・出品規制を解除する方法

Amazonが定める正規の解除方法

まずはAmazonが定める正規の解除方法について解説します。

通常、出品制限・出品規制が掛かっているブランド・メーカーの出品許可申請をクリアするためには、Amazonが定める内容・基準を満たす請求書、もしくは販売許可証を提出する必要があります。

正規の方法で出品許可の解除申請を出すためには、メーカーまたは卸業者が発行した請求書を手に入れるか、ブランドが直接販売を許可することを示す販売許可証が必要になります。

これはかなりハードルが高い条件になります。

基本的に小売先から1点もしくは数点を仕入れるケースが多く、請求書を取れたとしても卸業者ではないので、解除申請を通すことができません。

日本の卸売業界の商習慣においても卸業者と取引できるのは原則法人のみになるので、小さな規模で個人自営業としてネット通販業では立ち入れない領域であることがほとんどです。